



## 月刊バイブル（世界のベストセラー、聖書のトリビア）

### 第22号

発行:レムナントキリスト教会

価格:100円（送料込みで200円）

### 〔目次〕

- ◎聖書からのメッセージ:すべての人を照らす真理の光 エレミヤ
- ◎高ぶりを打ち砕く:進化論の誤り(18)「突然変異」
- ◎箴言から学ぼう!:神さまのお友だち
- ◎詩篇を読む:すばらしい助言者
- ◎キリストを信じた体験談:祈りが聞き届けられた事 ミカエル
- ◎聖書に関する偉人のことば:テニスン
- ◎ご案内:聖書贈呈、聖書通信講座

### <聖書からのメッセージ>

すべての人を照らす真理の光  
by エレミヤ

〔聖書箇所〕ヨハネの福音書1:9  
1:9 すべての人を照らすそのまこと(真理)の光が  
世に来ようとしていた。

今回は、「すべての人を照らす真理の光」として、上記テキストから見ていきたいと思えます。キリストは真理の光である、ということを見ていきたいと思うのです。

「真理」とは、よく使うことばですが、このことばの意味合いを改めて考えてみましょう。真理ということばの意味合いは、「本物」という意味があります。偽物ではなく、本物である、という意味合いなのです。

ある人は、世の中には人生における唯一の真理やら本物など無い、と言いますが、聖書

はそうは語りません。偽物はたしかに世の中には多いですが、しかし、真理が無いわけではなく、真理は存在すると語ります。真理、正解は存在するのです。そして、その真理を我々が理解出来るようにと、神は聖書を通して提示している、それが、神の言われているスタンスです。

具体的には、聖書は、神の唯一の子（ユニーク、ただ一人という意味合い）と言われるキリストに真理がある、ということを語ります。このような言い方に対して、納得する人も納得しない人もいるかも知れませんが、ただ、神はそう言われていますので、少し神の言われることに耳を傾けてみましょう。

また、真理の光と書いてあるので、光ということも考えてみましょう。

# すべての人を照らす真理の光 エレミヤ

私たちは、普段は、光のことなど特に気にしないのですが、しかし、暗い夜やら、真っ暗の闇の中に入ると、その時は光の有り難味を感じるものです。

私はいつか、仕事で真っ暗な駐車場に入ったことがあります。そのビルの地下にある駐車場には、たった一本の蛍光灯さえついていませんでした。それで、ドアを開けてその駐車場に入ったとき、何の光もなく、そこは闇であり、真っ暗だったのです。それこそ、目の前にある壁も、自分の履いている靴も、見えませんでした。あまりに真っ暗なので、私は動きようもなく、壁に電気のスイッチがあるはず、と思って探そうとしたのですが、暗くてスイッチの位置が分かりません。何も見えず、右にも左にも動けないので、私は仕方無く、自分が今入って来たそのドアに戻ろうと思ったのですが、そのドアもどこにあるか分かりません。ドアからほんの2、3mしか離れていないはずなのですが、暗くて全くどこにあるのか分からず、探しようがないのです。この時は、光が無い、全く光が無い、ということは本当に不便だ、普段出来ることが、何も出来ないということ、大いに実感したのです。

さて、このように、実際の生活で、光が無いということは不便です。暗くても懐中電灯を用意すれば良い、という意見もあるのですが、しかし、懐中電灯を用意しても、出来ない暗い世界もあります。何を言っているのか？と言うと、人生の真理に関する闇について語っています。

私たち人の生活において、あらゆる科学真理が開けて、どんどん謎が解明されており、何も分からない、暗いことなど無いように思えますが、じつは大事なこと、もっとも肝心なことに関しては、私たちには光が無い、真理が見えていないように思えます。たとえば、私たちの人生における根源的な問題には、今でもハッキリした真理やら、光は与えられていません。

すなわち、私たちの人生の目的とは何なのでしょう？人は何のために生まれ、私たちは何を目標に、人生を生きれば良いのでしょうか？そもそも人はどのようにして、誰によって生まれてきたのでしょうか？進化論者は、人も猿も偶然に生まれて進化した、人生に特別な意味は無い、と語りますが、果たしてそれは本当なのでしょうか？そもそも、神は存在しているのでしょうか？死後の世界はあるのでしょうか？

このような私たちの質問、疑問に答え、聖書は、キリストを提示します。このキリストが来られたことに関して、「**すべての人を照らすそのまこと(真理)の光**」である、と語ります。どういう意味なのでしょう？このことを少し考えてみたいのです。

ひとつハッキリしていることは、私たちは、誰も彼もこの人生の中で、闇の中を歩いており、真理の光の無い、闇の中を歩いている、ということです。しかし、聖書はキリストこそが真理の光であり、この光を得て、この光を受けることを薦めます。そうするなら、私たちがたとえ、今まで闇の中をさまよっていたとしても、そのとき光を得ると語ります。結果、自分がどこへ行くべきなのか、どのような道が危ないのか、ハッキリしたことを見、ハッキリしたことを悟るようになると語ります。そうです。この聖書のことばは、このようなことを語っているのです。

キリストは真理の光、と聞いても、あまりピンと来ないかも知れませんが、私自身の経験を書かせてください。キリストは光である、このことは、私自身の生涯や経験と照らし合わせてみても、真実でした。私も以前は、他の人と同じように、進化論が正しいのだろう、と思い、そして、それと共に、自分の人生に関してどのように歩いたら良いのか、ハッキリしたことが分からないまま人生を歩んでいました。

# すべての人を照らす真理の光 エレミヤ

しかし、ある時、聖書のことばを聞く機会があり、自分でキリストを信じるようになりました。そして、その結果、私の人生に良いことが沢山起きるようになったのですが、その中でも良かったことは、自分の人生や歩み方に関して、光が与えられるようになったことです。上記テキストに書いてありますように、キリストこそ、真理の光であり、キリストを信じる時、その光が与えられ、物事の実態が見えたり、隠れて分からなかった真理が見えるようになったのです。ですので、私はキリストを信じるようになった後、真理の光が与えられるようになりました。

私はその光を通して、人生における大事なことを自分で悟るようになりました。そして人間とは、進化論の言うように、偶然に出来たものではないこと、そうではなく、人とは神の意図や計画の中で創造されたもの、意味のある存在であることが、私の心の中で分かったのです。さらに人間とは、あらゆる動物の中で、もっとも重要な存在として、神により、創造されたことが分かりました。聖書は「人は神のかたちに造られた」と語ります。人とは尊い存在であり、神と同じようなかたちに造られたのです。

このような事柄を、私は、以前は知らなかったのですが、自分が聖書に書かれた神を信じ、キリストを信じるようになった後、悟るようになったのです。もちろん、このようなことや、知識は聖書に書いてあるのです。しかし、そのような知識を人から教えられて分かった、というより、自分自身の心の中に光が与えられ、結果、誰に強制されなくても、自分自身で悟り、見て、そして納得したのです。

光が与えられて自分で見る、このことをどう表現したら良いのでしょうか？このように説明したら分かるのでしょうか？たとえば、私たちが友達にお金を貸していたとします。返済日に、彼と暗い道で出会い、彼がお金を返してくれることになりました。しかし、真っ暗な光の無い中で、彼に「これが借りていた

1万円のお札だよ。」と言われて、渡されても不安があります。暗い中では、それが本物のお札かどうか、よく分かりません。何かお札らしきもののように見えますが。しかし、ただの紙切れのようにも見えます。けれども、そこに懐中電灯の明るい光が与えられるとします。すると、ハッキリとその札を見ることが出来、そして、自分でその一万円札の表も裏も確認し、本物だと納得したのなら、私たちは、「ああ本当にお金を返してくれたのだ。」と納得し、安心するのです。光が与えられ、自分の目で見たことは、本当の意味での納得やら、了解を私たち自身にもたらすのです。人の説明を100回聞いても、不安だったり、納得出来なかったことも、ひとたび、光が与えられ、自分自身の目で見るなら、すっかり納得し、了解するのです。

私は上記のように、キリストを信じた後、たしかにキリストからの真理の光が心に与えられました。それで、何が正しいことで、何が間違えであるのかを、自分自身の目で見る事が出来るようになったのです。

このような説明で少しは分かっていたかもしれませんがでしょうか？ですので、繰り返しますが、キリストこそ、真理の光なのです。そして、このキリストを信じた人には、この真理の光が与えられ、何が真理であり、何が偽りであるのかを悟り、理解出来るようになるのです。このことを知ってください。



キリストは真理の光

# 高ぶりを打ち砕く:進化論の誤り(18)突然変異

人はどこから誕生したのか?その問題に関して聖書は「神が人を創造した」と述べます。しかし、日本においては学校で進化論が教えられており、人は猿から進化したと説きます。では、その進化論は正しいのか?それをこのシリーズで見えています。

進化論において、「突然変異」は進化の主役とされてきました。進化論においては、生物は「突然変異」の積み重ねによって、次第に複雑で高度な機能を持つ生物に進化してきたとされています。ですから、突然変異は、実質的に進化の唯一の原動力であります。より高度な生命形態への突然変異が起こり得たならば、進化も可能だったことになり、起こり得なかったとすれば、進化は不可能だったということになります。

しかし、今や多くの科学者が指摘していますように、突然変異は進化を推し進めるどころか、進化を妨害し、生命の存続を危機に追い込むものでしかないことが分かりました。突然変異は、その生物に有利な変化をもたらすのではなく、不利な変化しかもたらさないのです。

あの「ショウジョウバエ」の突然変異を観察した結果も、突然変異によってもたらされたのは「異常に短いハネ、変形した剛毛、盲目や他の重大な欠陥」に過ぎなかったのです。ヒトにおいて、障害児が生まれたり、遺伝病が起こったりすることがあるのも、突然変異の結果です。突然変異とは「異常」であり、「障害」であって、生命の歴史において生命体を改悪することはあっても、改善し「進化」させることは出来なかったのです。進化論の教科書などではよく、「**突然変異はほとんどの場合有害だが、長い時代の間には、いくつか有益な突然変異も出てきて、それが進化の原動力となったに違いない。**」というような教え方がなされています。しかし、アメリカの著名な科学者ゲーリー・E・バーカー博士は、数多くの有害な突然変異の中で、たとえ万一、その生命体に一つ、あるいは幾つかの「有益な」突然変異が起こったとしても、結局それ

も生命体を進化させることは不可能だったことを、明らかにしています。

なぜなら、突然変異によって引き起こされた欠陥や障害は、歳月と共に遺伝子の中に重い「遺伝荷重」を負わせ、積もり積もっていくからです。「遺伝荷重」とは、遺伝子エラーの積み重ねで、生命体にかかる負担となり、遺伝的に次の代に伝わっていくので、代を重ねるごとに重くなり、ついには致命的なものとなります。したがってその過程で、有益と見える変異がたまたま起こったとしても、積もり積もった数多くの障害の中で、それも役に立たなくなります。歳月が経てば経つほど、その傾向は強くなり、結局突然変異は進化を妨害し、「種」の存続を脅威にさらすだけなのです。

また、生命体に真に有利な突然変異、あるいは、他の種に移行し得るような突然変異を実際に観察し得た人は、誰かいるのでしょうか?誰もいません。また、実際に、一つの種から他の種に移行した生物を見た人もいるのでしょうか?これも一人もいません。今までの理論も観察も、他の種への突然変異は無かったことを示しています。進化は無かったのです。すべての生物は、聖書が述べていますように、「**種類にしたがって**」(創世記1章21節)創造され、同時期に存在し始めたと考えたほうが、事実によく適合していると言えます。



突然変異した奇形の花:  
突然変異はみな、有害な変化である

# 箴言から学ぼう！:神さまのお友だち

〔聖書箇所〕箴言22:11

22:11 心のきよさ(KJV訳:純粹)を愛し、優しく話をする者は、王がその友となる。

世の中に、心のきよい人とか、優しく話をする人、と言われるタイプの人がいらっしゃると思います。そして、聖書では、そういった人のメリットに関して、一面言われています。

上記にありますように・・・もし、私たちの心がきよい、優しく話をする、という風に、神さまに見なしていただく、というときに・・・「**王がその友となる。**」ということばが実現していくのです。

ちなみに「**王**」とは、「**世々の王、すなわち、滅びることなく、目に見えない唯一の神**」(1テモテへの手紙1章17節)とありますように、「神さま(イエス・キリスト)」のことを言われていますので・・・上記のことをそのまま実践していくなら、神さまのお友だちになれるのです。

そして、その最大のメリットについて、以下をご覧ください。

〔聖書箇所〕ローマ人への手紙8:31

8:31 では、これらのことからどう言えるでしょう。神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょう。

「**神が私たちの味方であるなら～**」とありますように・・・神さまが私たちのお友だちになってくださる、という場合に、味方にもなってくださるわけなのですが・・・そうなって

いくときに、「**だれが私たちに敵対できるでしょう。**」と書かれていますように、敵対する人たちから守っていただくことが出来る、ということをご理解いただけるかと思えます。このことは、すごいことですよ？

そうなんです。心をきよくしたり、人々に対して優しく話をしていくときに、神さまのお友だちにしていただいたり、特典を受けることが出来るのです。

ですので・・・もし、神さまのお友だちになりたい、あるいは、敵対する人々から守ってもらいたい、なんていう風に思われましたら、このふたつのことを実践していきたいと思えます。

さいごにひとつみことばをお読みして、終わりにしたいと思います。

〔聖書箇所〕マタイの福音書5:8

5:8 心のきよい者は幸いです。その人は神を見るからです。



私たちの友となってくださいるイエスさま

# 詩篇を読む:すばらしい助言者

[聖書箇所]詩篇16:7

16:7 私は助言を下された主をほめたたえる。まことに、夜になると、私の心が私に教える。

上記のみことばは、ダビデ王が語ったことですが・・・ここに、「**助言を下された主**」ということが書かれています。

ダビデ王はクリスチャンであります。彼の時代だけではなく、今現在においても、イエスキリストを信じてクリスチャンとして歩いていく、というときに、主なる神さまは「助言」をくださる、ということをごちらの箇所では言われております。

この世の中でも、人々に助言（K J V 訳: c o u n s e l）をする立場の人がおられますよね。「カウンセラー」と呼ばれる人々がまさにそうだと思います。何か困ったことがあって、相談に来られた方々に、良い方向へと導くための適切な助言をしてくださる方々です。

そして、聖書においても、「助言」を与えてくださる、ということをご一面言われております。今回の箇所がそうなのですが、目には見えませんが・・・しかし、天の父なる神さまがそのことをなさる、ということをご語っております。

また、ここ最近、エレミヤ牧師が語る「箴言」のメッセージの中でも、同じようなことを語られていました。その時の引用箇所は、「**指導がないことによって民は倒れ、多くの助言者によって救いを得る。**」(箴言11章14節)というものでした。

そして、以下のことをエレミヤ牧師が語られていました。

『**多くの助言者**』と書かれていますので、一面、

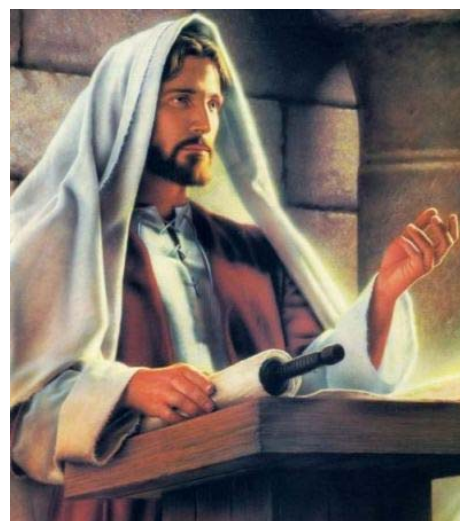
人々からの助言について言われていますが・・・しかし、それと共に、一番の助言者は、神さま(聖霊)だということも言われています。」ということをご、礼拝のメッセージの中でおっしゃっていました。

聖霊ですので、たしかに目には見えないのですが、しかし、何かがあったときに・・・このお方を頼って、助言者となっていただくときに、「**救いを得る。**」とありますように、あらゆることから助け出しただけでござる出来たのです。

そのようなことから、神さまは、私たちにとって最善のすばらしい助言者なわけですよ～、ということをご今回の聖書箇所において語っているのではないかなあ・・・と思います。

もし、そうかも知れないなあ・・・なんて思いましたら、ぜひ、神さまに助言者となつていただき、あらゆる事柄において、良い解決を得ていきたいと思います。

また、神さまには間違いや誤りが一切ありませんので・・・頼っていく価値が大いにありますので、よろしければ、お勧めいたします。



神さまは、助言を下さるお方

# キリストを信じた体験談:祈りが聞き届けられた事 ミカエル

現在、私は東京に在住しています。田舎は東京からは遥かに離れた所にあります。2009年の秋頃、1週間程帰郷して、親族の人達と楽しいひと時を過ごした事がありました。その中で、弟の家族と親しく過ごすうちに、甥っ子と姪っ子に自分の住んでいる東京に遊びに来る事を提案しました。良い社会経験となると思ったからです。旅費やその他諸々の費用は自分が持つと言う事を言いましたら、彼らも喜んで賛成したのです。二人はその時、共に中学生でしたので、年が明けた3月の春休みに、東京見学案内をする事にしました。

東京へ戻った私は、田舎にいる甥っ子と姪っ子の二人が、共に都合の付く東京での春休み期間の連絡を受け次第、早速、二人の為の東京滞在の予定表を作成しました。それは、甥っ子と姪っ子が田舎を発って、東京に滞在し、さらに田舎へ帰るまでの予定表です。東京での滞在期間に彼らが何処へ行きたいのか？を聞いて、出来るだけ彼らの希望に沿った計画表作成のためのメールのやり取りがありました。甥っ子姪っ子達もネットで色々調べて、自分達が東京に行った時に行きたいところをその都度、メールで知らせてきました。その中に、彼らの希望で、キッザニアへの参加というものがありました。

私は初めて聞く名称でしたので、ネットで調べました。するとこれは、楽しみながら社会の仕組みを学ぶことが出来る(子どもが主役の町)本格的な設備や道具を使って、子ども達は大人のように色々な仕事やサービスを体験することが出来、自分の好きなパビリオンを選んで体験することが出来、そのような模擬体験を通して、色々なことを学べる学習施設なのです。彼らは、これに是非参加したいという事をメールで伝えてきたのです。このキッザニアへの参加をするためには、事前に予約をしなければなりません。日にちが迫っていましたので、早速私はその予約をネットですることになりました。パソコンの画面に映し出されるカレンダーで、彼らが東京で滞在する期間は全て満席(空気が無い状態)で

す。どうしよう?キッザニアに行くことを二人ともとても楽しみにしています。もし予約が取れなければと、二人の落胆する姿が目に見えます。どうにか予約を取りたいとパソコンの画面を見つめながら私は焦りました。この時期は、どこの学校も休みの時期で、子どもたちの利用が多い事が理解出来ます。思案に暮れながらパソコンの画面を見つめていますと、時より満席だったところの色が変わり「空」を表す表示に変わる事があるのを発見しました。ですがよく見ると、たしかに学校が休みの期間なのですが、甥っ子と姪っ子が東京に滞在する期間には入っていないのです。私は画面を見ながらイエスさまに祈りました。どうかキッザニアへ二人の参加予約が出来ますようにお願いします!と。

たまに表示が「空き」になるところが出来ますが、私が願う範囲での空気がなかなか出ません。ですが諦めません。画面を見つめながら、さらにさらに祈ります。とても長い時間、パソコンの画面とにらめっこしているように感じていました。一時間近くか、あるいは、優にそれ以上経過していたと思います。突然、希望していた「許容日数」に「空き」の表示が出ました。私はこれを逃さずに、すぐさま予約の書き込みをしたのです。この時に、子ども二人の予約を取る事が出来ました。神さまに祈った私の祈りが聞かれたのです。ホッとすると同時に、大きな安心感が体中にみなぎるのを感じるようでした。甥っ子と姪っ子が東京に来て、キッザニアでの経験をととても喜んでいた姿を今でも忘れません。神さまが、私の祈りを聞き入れて下さったのを感謝しています。



祈りの中で、キッザニアの予約が取れた

# 聖書に関する偉人のことば:テニスンのことば／お知らせコーナー

## <聖書と偉人>

ヴィクトリア時代のイギリスの詩人フランス



テニスン

聖書を読むこと。  
そのことが教育である。

## <お知らせコーナー>

### ●聖書贈呈プレゼント！聖書通信講座！

月刊バイブルお読みになっていかがでしたか？少し、聖書に興味がわいてきましたでしょうか？このたび、当教会では聖書贈呈、プレゼントを行っています。この機会に聖書をあなたも読んでみませんか？また、ご希望の方には、聖書通信講座も開設しました。申込者全員へ、贈呈可能です。ご興味がありましたら、ぜひ、お申し込みください。

以下を記載の上、mail:truth216@nifty.com もしくは fax:020-4623-5255 もしくは tel:042-364-2327 へ連絡ください。

- (1) 聖書贈呈に申し込みます。
  - (2) 聖書通信講座に申し込みます。
- \*ご希望の番号に○をつけてください。(複数可)

郵便番号:  
住所:  
名前:



見本

### ●レムナントキリスト教会「日曜礼拝」のご案内

曜日/時間:毎週日曜日/午前 10:30-12:30,午後 14:00-16:00

場所:東京都、京王線府中駅前、府中グリーンプラザ本館 (tel:042-360-3311)

1Fのエレベーター脇の部屋表示板で、「レムナントキリスト教会」の部屋を確認ください。  
どなたでも来会歓迎、入場無料です。tel:042-364-2327, mail:truth216@nifty.com

### ★教会のHPもあります。

ご興味のある方は、「Yahoo! Japan」で、「府中 レムナントキリスト教会」で検索ください。

尚、レムナントキリスト教会はプロテスタントの教会です。ものみの塔や統一教会とは関係ありません。

☆クリスチャンになったばかりの方やノンクリスチャンの方におすすめのサイト:オリーブ&ミルトス

<http://remnantnotudoi.jimdo.com/>

☆ノンクリスチャン向けへのブログサイト:パンの家

<http://87494333.at.webry.info/>

☆クリスチャンの方におすすめのサイト:エレミヤの部屋

<http://www.geocities.co.jp/Technopolis/6810/>

☆クリスチャン向けへのブログサイト:終末の風

<http://whattopics.at.webry.info/>